



発行所 常磐文藝社  
 印刷所 常磐印刷株式会社  
 電話 六三〇番  
 定価 一部全五紙一円五拾銭 郵税五銭  
 定価 五部全二十紙一円五拾銭  
 日曜 祭日の日休刊  
 発行 常磐文藝社 毎日新聞社  
 印刷 常磐印刷株式会社

兩親に贈る言葉 (1)

上村 哲彌

父は照り母は涙の露になりおなじ恵にそだつ撫子と古歌にあります通り、家庭に於ける子女の訓育上父親と母親とが各々主として分擔する部面は異ひます。昔から父は嚴に、母は優しく等とさとしてあります。併し乍ら教育者としての兩親の根本使命に到つては、決して異なる二つのものではななくして、同一物の一面に過ぎないものであります。

父はうちの母はいだきて悲しめば

かはる心と子や思ふらむ此の歌にも表れてありますやうに、打擲する父の心も泣く子を抱き上げて悲しむ母の思ひも同じ慈愛の親心には違ひないのですけれど、世の兩親は兎もすれば親心の同じなことは知つては居ても、教育者としての使命の同一であることは忘れ勝てありません。その爲に父親は餘りに寛に過ぎたり或は近頃の傾向としては、反對に父親が甘過ぎるのに母親が嚴し過ぎたりして、兩親の間に所謂共同戦線が張られて居ません。叱るだけが父親の役目であり、御機嫌とりばかりが母親のつ

とめであつたのでは、子供の嫉けといふものは決して行はれないのです。善いことは父親の眼から見ても母親の眼から見ても善いことであり、悪いことは父親に云はせても母親に云はせても同じく悪いことではなればなりません。許す可きことは兩親共にこれを許し、許す可らざることは兩親共に禁じ、褒む可きことは兩親揃つてこれを嘉賞するところがあつて、初めて家庭の嫉けといふものが完ふされるのであります。その反對に一つの家庭に於て命令が二途に出でたり、父の許容するところ必ずしも母の嘉

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】汗 蛤 小付 のり

【晝】白和へ 人參 こんにやく 小付 馬鈴薯 油揚

【晚】鳥やき 飛魚 清汁 葱と油揚

納するところではなかつたりしたので、子供は常に去就に迷ふのです。そしてさういふ事情の下に於ては、子供は確信を以て自分の意志を決定し、安心して行動することは出来ません。そ

これは子供にとつては現在に於て甚だ不幸なことであるばかりでなしに、斯くの如くして育て上げられる子供は、やがて成人になりましても信念を以て終始一貫するといふことが出来なくなります。人間として當の本人とつてこれ位損なことはなく、周囲の人々にとつてその様な人ぐらゐ困つたものはありません。子供の教も育者としては兩親はどうしても一心同體でなければなりません。それで今日主として兩親の共通な使命に就て御話を進めて見たいと存じます。

常磐文藝

白水行

平六山 人

△紙漉きしづく白水水やせては山しげ山山しづかなら  
 △鳥啼かず山しづかなる峽の隈名だる跡のかすかとぞなる  
 △さびしに幾春秋をひとり立つしまの峽の阿彌陀堂はも  
 △遠つ世の鑿の香のこる阿彌陀堂幾露霜をへにや来るらん  
 △御光りを仰くもたふと阿彌陀如来現世もてらせ思惟佛道

光の春を駆て!  
 皆様旅のガイド  
 不二の車は待つ  
 タクシー不二  
 未知ノドライブコース  
 オ問合せ下さい  
 電話 32番

外科 専門  
 花柳病科  
 木村外科醫院  
 電話 三〇九番  
 平町六丁目橋際  
 自炊入院の便あり

是非!  
 御融通には御用命下さい  
 萬事便利な御相談に應じます  
 三井質店  
 平・四電六〇六番

婦人科 院長 木村寅次郎  
 外科 醫學博士 内木宗八  
 藥局 藥劑士 大岩俊雄  
 平町新川町十九  
 病室完備  
 入院隨意  
 木村病院  
 電話一六四番

橋本屋 造花店  
 神佛具  
 速 迅 價 廉  
  
 平新川町 電話一六三番

難波 陸  
 内科一般  
 醫學博士  
 看護婦募集  
 平町大町新川端  
 電話 五〇二

石炭  
 コークス  
 豆炭  
 阿部石炭店  
 平 驛前  
 電話三十七番

喜多流 謠曲と仕舞の  
 お稽古をお奨め致します  
 平町田町六九  
 喜多流 謠曲 白土會  
 入會時隨  
 電話一二七番

# 平商新築の

## 意見區々に分る

### 町當局何れにか腹を極め

#### 處定方針に猛進

平町は曩に本年度に於て移轉新築に決定した平商業學校の敷地選定に關して平商新築委員が調査中であるが豫定地としてあげられた同町の梅香町並に隣接神谷村の鎌田山の二ヶ所に就いてこの程實測を行つた結果、梅香町は電線の横斷緊密して危険伴ふ外意外に地價高く殊に土盛の必要あるため反對多くまた

鎌田山の高地は他村所有地である關係上、地元敷地が皆無なら兎も角町立商業學校の敷地には不向と稱へられ一面水道貯水池と同位の高所のため配水の不便を來たし萬一の場合の

消火作業 遅延を懼れられるので兩敷地とも實現性稀薄となり別案として實現近き第四小學校の敷地一萬八千坪に約二千坪を追加して

第四校と 平商を併立中間に町營グラウンドを狭む説及び現在の第一第二兩小學校を男女併合とし、第四校敷地に第一校を移轉擴張し、第一校跡を平商に當てる説、更らに第四校を建設

して當分平商校舎とし附近村落併合を待つて適當な平商敷地を求むべしとする説など議員中にも意見區々に分れて何れとも決定し難いが一方現在の平商校舎は腐朽甚だしく一日も悉せにして置く事の許さぬ状態に迫られて居る爲め

近々中に 町當局も腹を極めて急速に新築の緒に着く模様である

#### 雪害復舊

##### 通信技師視察

仙臺通信局工務課長眞崎尙忠氏、技師森正治氏の一行は本六日午後來平、本年二月平地方を襲つた雪害に依る電信電話線の復舊振りを視察するが一行は本日平町に一泊明七日は湯本、植田勿來方面を視察する筈

#### 平局海外通話

便局の海外電話は去る一日から佛領印度支那の西貢市と通話開始したが一通話の料金三十五圓で利用者は未だ一名もない

#### 保險年金打合

平郵便局管内本部第二區三等局

長は本六日午前十時から平局樓上に仙臺通信局の東書記出席保險年金の事務打合せを行つた

#### 米價高値

##### 大浦の共販

大浦信用組合は昨五日俵米百七十八俵の共同販賣を行つたが市場の品薄から平均一俵十二圓五錢と云ふ高値で落札 去る一日平農會の共販より十四錢高いと

#### 平商生の

##### 關西旅行

平商五年生は來る十二日中村、宮澤兩教諭引率の下に關西方面に四泊五日の豫定で修學旅行を行ふがプランは此程左の如く決定した(十二日)平發午前五時十五分名古屋午後七時三十分着小松屋本店泊(十三日)名古屋城及市内見學午前八時十五分名古屋發十時三十分山田着伊勢大廟參拜午後二時三十分山田發電車にて二見行見學四時四十分二見發七時十四分奈良着松島館泊

(十四日)春日山三笠山東大寺及市内見學午前十時五十二分奈良發十一時五十六分淡町着大阪城及市内見學午後四時二分大阪發四時五十六分京都着桃山御陵參拜電車にて桃山行午後七時發二十分後三條着いろは館本店泊(十五日)午前中取山行午後嵐山及市内見學午後六時三十九分京都發車中泊(十六日)午前五時五十分品川着明治神宮參拜宮城遙拜後自由行動午後一時五十分上野發七時三十七分平着解散

#### 平女青が

##### 總會開催

來る十七日平女子青年團の總會は此程幹事會を開き協議の結果來る十七日第二小學校講堂に開く事に決定

#### 方面委員協議

石城郡方面委員會は八日午後一時より平町第三小學校で開催

#### 經濟更生

##### 郡下四ヶ村

##### 縣から發表

本郡内の十一年度經濟更生指定町村は今回縣から左記四ヶ村が決定發表された川部村 上下小川組 磐崎村

#### 產馬功勞

##### 郡下表彰者

永戸村堀本リンさんは昨五

日郡山市に開催された種馬共進會に於いて本郡から唯一人の產馬功勞者として表彰された

#### 兵營宿泊

##### 平商けふ出發

既報四日間に亘り仙臺工兵第二大隊に兵營宿泊軍隊の實生活を體得する事になつた平商四年生八十二名は今朝平發八時二十分佐藤配屬將校及び麻原教諭引率の下に出發した

#### 手拭持參

##### 平第三校注意

平第三小學校は今朝全校生徒の服装検査を行つた處手拭を持參しない者が一學級に二十名位づゝあるのので今後は充分注意する事になつた

#### 保護者の

##### 評議員會

平町小學校保護者會評議員會は來る十二日午後一時から第二小學校に開き豫算決算及び總會の日取其他を協議する

#### 磐女球技

##### 校內大會

磐女は來る十五日三年(庭球)及四年(排球)の校內大會を催すと

#### 第二職員散策

平第三小學校職員は本六日午後三時から神谷農事試驗場方面に職員員の郊外散策を行

#### 郡聯合の

##### 青年團協議

郡職合青年團評議員會は今六日午前十時から磐中會議室に開き豫算決算及今後の事業に就いて種々協議したが欠員中の副團長は平青年團長大嶺庫氏に決定した

#### 平町人事

結婚 姻

△鐵道官舎第十五号の二戸 關口正義氏(二四)同所關口サクさん(二二)

△六人町三鈴木修平氏(二九)

#### 耳鼻咽喉科専門

### 鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男  
平町田町 (電話五八番)  
藤田女學校前  
炊のお需めに應ず  
入院の便あり

#### 磐城セメント會社特約店

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九九九

□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は人の生命なり

平町田町通電話六五六番

### 坑口問題の抗争 假処分取消で落着

#### 復湯工事に光明 湯本町役場焦眉を開く

湯本町の温泉復活に就いて惹起した坑口問題は開鑿禁止の假処分を實行された湯本町役場側で千葉辯護士を代理人として假処分取消を申立、争つたが去る四日平區裁判所から公益事業であり内容も湯本町の申立通りであるからと保證金千圓を積んで假処分を取消し再び開鑿工事に着手した

#### 小名濱町で 公立圖書館

寄附募集に着手  
小名濱小學校では今回豫算三千圓で公立圖書館を設置すべく西山校長外委員五名が寄附金募集に着手したが年内中に實現する模様である

#### でつちあげた 自稱インテリ

#### 騒がれた女給の なんと假面暴露

植田町東田渡邊鐵の従妹渡邊カネ子(一)は東京御茶水高女卒業或は元々學校教諭と云ふ振れ込みで相馬郡原町のカフェー文化でインテリ女給として騒がれて居たが極左分子の情夫があると、事に原ノ町署で取調べた處元女學校教諭や情夫は全部でつち上げたもので學校は六年を卒業したけの者と判り説諭の上科料二圓に處せられた

#### 呆れた…… 手長少年

#### 保護検査中逃走 赤井村神明下一二農貞藏二

検事正の巡視 増田  
検事正は明七日午後十二時四十九分際で來平、平検事局を始め刑務所、警察署を

#### 海軍記念日に 第二校強行軍

平町各中等學校及び各小學校は来る二十七日の海軍記念日の催しにつき目下夫々プラン作成中であるが第二小學校は校長の講演後左の如く強行軍を行ふ由

- 一年曲田橋 二年八木内
- 三年中平窪 四年江筋橋
- 五年五反田 六年下小川

高等科開場

#### 遭難遺族に贈る 義捐金を一般から募集

去月廿五日豊間村鹽屋崎燈臺沖合で激浪のため遭難願覆、八名の乗組員の行方が未だに判明せぬ江名町佐藤長一氏所有底曳網漁船長勢丸(一九噸)の遭難者遺族に對して地元漁業組合並に

#### 府立一中生が 本郡炭礦見學

着列車で來郡、入山炭礦を見學の上一泊し八日は内郷村警署を見學中町を経て郡山方面に向ふと

#### 注意兒童の父兄は 大半出席しない

#### 是れでは懇親會が無意味と 第三校が出席勧誘

既報平第三小學校は来る廿三日父兄懇談會を開き父兄の授業參觀後懇談に移るが毎年同會に出席する父兄のは同校全父兄の三分の一に

#### 今晚の部

- 後六、〇〇 童謡と唱歌
- 福島縣伊達郡川俣校兒童
- 後六、廿五 基礎英語講座
- 鹽谷榮
- 後七、三〇 講演「東北と放送事業」佐々慎
- 後八、〇〇 吹奏樂と軍歌
- 陸軍戸山學校軍樂隊

#### 明日の部

- 前五、四〇 小鳥の朝 明
- 治神宮舊御苑より中繼
- 後八、二五 俚謡「神能比山うた」今野豊藏他
- 後八、五〇 浪花節「吹雪の召集令」末廣友若
- 後九、三〇 時報「ニュー・ス明日の話題」番組豫告

#### 土木課長 調査に來郡

平土木監督所管内河川道路港灣調査のため七日河合本縣土木課長が來郡左記の如く三日間に亘つて調査を行

#### 郡下の青年辯士 熱辯を揮ふ

郡聯合青年團の雄辯大會は今六日午後一時から磐中講堂に於て開催されたが各分團よりの出演辯士及演題は左の如くでいづれも母團の名譽を擔つて熱辯を揮つた

- 「農村更生と青年」飯野浪
- 沙英勝「田圃の勇者」桶買
- 永山正龜「未定」大野木田
- 好次「武道と青年」好間第二
- 栗木映「青年よ自重せよ」小川清野正恵

#### 女給逃走 ハラダス御難

前借を踏み  
相馬郡新館村大字芦股字白金九八伊次郎妻門馬セン(三)は去月廿八日腹が痛いとして同郡原町大熊醫院に行つて來ると出かけたまゝ、行方を晦ましたが最近附近の

#### 問借人と 何れへか駈落

相馬郡新館村大字芦股字白金九八伊次郎妻門馬セン(三)は去月廿八日腹が痛いとして同郡原町大熊醫院に行つて來ると出かけたまゝ、行方を晦ましたが最近附近の

#### 國旗 提灯

ものらしく偶々夫が歸宅して自由に遊べない處から情夫と共に謀の上手に手を取つて若き燕と駈落ちと酒たもので平地方に潜伏してゐるらしいと伊次郎から六日平署へ

#### 平職業紹介所報告

- 回 人を求める方  
△農夫 二〇一五〇才迄 給十圓
- 回 職を求める方  
△鐵工業 廿二才 高卒  
△トラクタ助手 廿四才 高卒  
△事務員 十九才 中卒





(著上原)

悟道軒圓玉(作)  
丸尾至陽(書)

一一三 改心して亂暴  
青木彌太郎はそれに居る同志の入々に向ひ容を正して

〇「これは怪しからぬ、かたく約束したことを今に至つて中止するとは臆病風にさそはれたか、武士に二言なきことを忘れたか」  
彌「イヤ、恐れはいたさ



彌「さて各々、攘夷を執行いたすことについて今日まで各々と共に大いに活動した、これはかねて申せし如く攘夷を執行いたさば徳川の御家も安泰且又我々日本武士の精神の旺盛なることを彼等にしめし、國威を海外にまで輝かすさすれば徳川家も無事安泰、ついでには日本を窺うものもあるまい、かういふ意氣にて各々と共に攘夷實行について苦心もいたした、しかし退いて考へて見るに百二百の小勢にて外國の軍艦へ斬り込めばとて目的を果すことはなるまい、これがために幕府に迷惑した、さすれば忠義と思つてしたことが却つて不忠となる、しかし初一念をひるがへしたわけではござらぬ、何時かはこの事を實行いたすが今はその時機でない、依つて一時解散いたす故何れへなりともお引き取りください」  
とかういひ渡した、過激な人々はこれを聞いて拳をにぎり肩をそびやかした

ぬ、しかし君子時に申すといふこともある、時勢に適當せることはその時機の至るまでまたねばなるまい、ことには小笠原加賀守殿の御隠居單齋様の御説を聞いて今までの行爲のよろしからざること初めて知つた

たがござらぬ、然らば時機を待つことにいたす、何うだ各々、こゝは一時解散するかな」  
△「去りては残念なことだ、この刀に赤鬚共の血をぬらぬとは返へす、も遣憾至極、イヤ、嫌いな

敵を知りおのれを知らざればた、かひに勝つことはなるまい、外國の武備かつは事情にも通ぜずしてわづかな同勢にて攘夷を企てしは無謀であつた、とはいへこのまゝにすておくわけではない、時機をまつて志望をつらぬく、これをよく考へなされて一時御引取下さい」  
と説かれて一同は成程これば道理と思つた、過激派も怒らした肩をすばめて  
〇「成程、何うもいたしか

同引き取することにいたさう」  
承知した青木を見て、一人前へ十兩づつ、これは旅費としてあたへ、酒肴を出してもてなしたが一同も快く盃を上げて夜の九つ頃に解散した、あとで八百松が松「旦那、イヤ青木の殿様これからお前さんは何うします、お屋敷に引きこもつて慎んでおますかね」  
と問はれて  
彌「イヤそのことについて俺も考へてゐるんだ、不肖ながらも俺も旗本だ、その旗本が強盗同様な所業をして取つた金は遊里で撒きちらし時には博奕もする、お公儀の手におさへられれば重き罪科に處せられるであらう」  
松「腹でも切りますかえ」  
彌「そんなことでは済まぬ、まづ打首だな、そこで家名は斷絶、その上先祖の位牌と共に俺の俵は遠島家族は親類へ永のおあづけ汚名を後の世までのこさねばなるまい、それは自分の所業が悪いために汚名をながすはそれは自分自得でたれをうらむところもねえが旗本八萬騎全体の恥になることだ、また吟味中病死すれば家名は斷絶するが遺族には扶持米が出る、それに病死したものは首を斬られることはあるまい、また潔く名乗つて出たところで切腹して家名は斷絶、どつちにしてもおれの命はないものと覺悟してゐる、たゞ死ぬことに依つて將來家のためになることもある」

松「成程、こうなると死に方もむづかしい、それで何うします」  
彌「おれはすつぱりと改心してもう一度亂暴をする決心だ」  
といつたが、妙な改心の仕方もあるもの――

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

外科 一般  
内臓科  
花柳病科  
肛門病科  
レントゲン科  
物理療法科

北川外科  
醫學博士 北川芳夫  
醫學士 奧義弘  
技師 小林良次

伊ツデモ入院  
出來マス 電話四六四番  
平町新川町二七

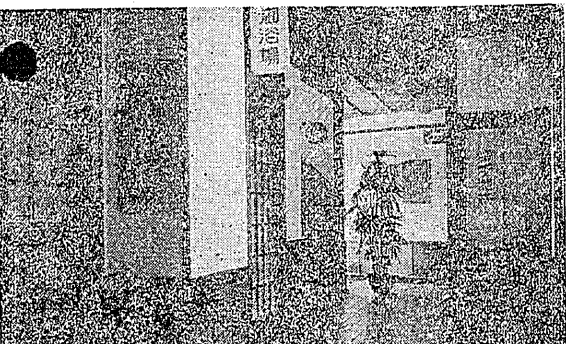
吸入用酸素 純度 99%

度量衡  
モノサシ  
マス  
ハカリ  
ス

器量計  
体温計  
寒暖計

●寫真材料一式販賣致シマス

關内藥局  
電話四〇番



小瀧へ!!

◇宿泊料 1.50 2.00 2.50  
(御帯在は左記料金にて中食料をふくませます)

◇日歸浴席料 .20  
◇自炊料 .50-.80 {入場料・室料  
夜具料一切}

◇料理一定食 .80 1.00 1.50  
(その他一品料理洋食)

◇湯 効 神経痛・リウマチス・胃腸病  
痔疾・婦人病・逆上・中風・肥肝病  
(内務省東京衛生試験所檢定済)

◇諸設 備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間  
讀書室・近代式浴場と洗面所・水  
洗式便所・小動物園・タクシー部  
御子様運動器具

◇名物 川魚料理(うなぎ・鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉  
御旅館 瀧の湯  
御自炊 電話 (小名濱) 103番